

(2) 第1回輸出入者業務個別検討会 (SWG) の 結果報告



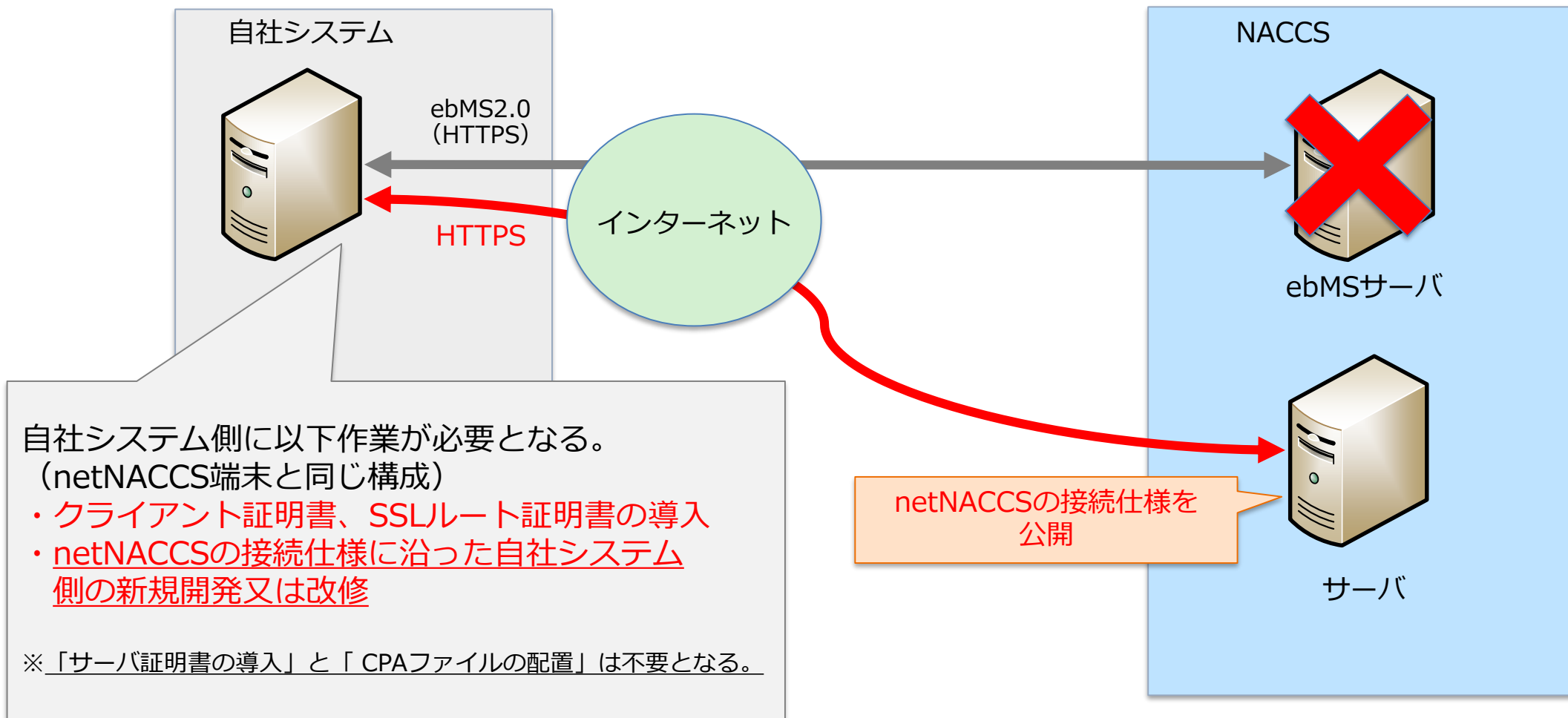
2021年12月16日
輸出入・港湾関連情報処理センター株式会社

① ebMS処理方式の廃止、netNACCS処理方式の接続仕様公開

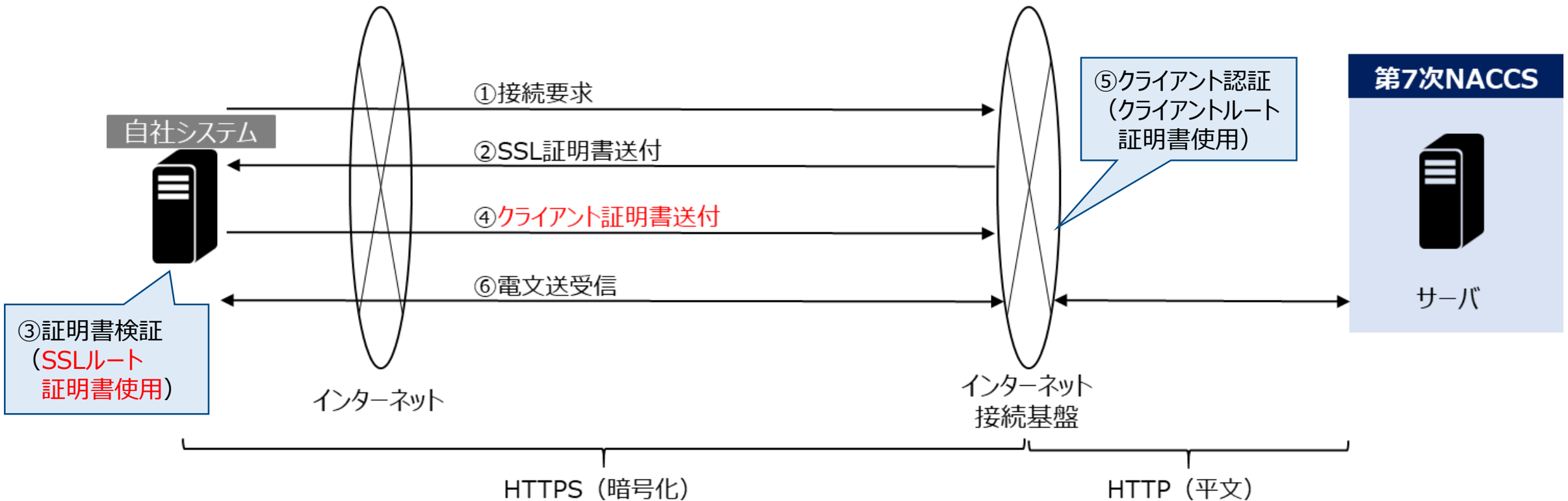
ebMS処理方式を廃止し、netNACCSの接続仕様を公開することで、ebMS処理方式に代わる自社システム向けの接続方式（インターネット経由）を実現する。

区 分	概 要	備 考
1. 個別検討事項	<ul style="list-style-type: none"> • ebMS処理方式の廃止する。 • 自社システム向けnetNACCS接続仕様（API）を公開する。 	
2. 現行仕様	<ul style="list-style-type: none"> • 第6次NACCSでは、インターネット経由で自社システムを接続する場合、ebMS処理方式のみとなっている。 	
3. 見直しの経緯 (利用者の要望等)	<ul style="list-style-type: none"> • ebMS処理方式では、証明書の更新作業が毎年発生するため、利用者とNACCSセンター間で調整及び作業が発生しており、負担となっている。 • インターネットを経由した自社システムの接続方式は、開発コスト削減等のため、今回検討する新たな接続方式に集約していくこととし、ebMS処理方式は廃止する。 • デジタルプラットフォームとの連携に関しても、新たな接続方式により実現することが選択肢として考えられる。 	
4. 次期仕様	<ul style="list-style-type: none"> • netNACCSの接続仕様を公開することで、自社システム向け（現ebMS利用者）の接続方式（インターネット経由）を実現する。 	
5. その他	<ul style="list-style-type: none"> • 第1回合同WGにて提示 • 基本仕様書Ⅲ-1「オンライン処理方式」 	

■ インターネット経由した自社システム接続方式イメージ



- SSL証明書及びクライアント証明書を用いた、暗号化通信及びクライアント認証を想定しており、実現イメージは以下の通りとなります。
- ネットワーク調達の準備を行っており、ネットワークベンダー決定後、詳細な検討を進める予定です。



※現行netNACCS接続と同じ接続方式を採用する予定です。

電文送受信等の機能については、以下の通り、netNACCS処理方式（パッケージソフト）の機能と同様とする予定です。以下の表に記載した機能について、自社システム側で必要となる機能を開発していただくこととなります。

No.	機能	概要
1	電文送受信	センターに処理要求電文を送信し、センターから処理結果電文を受信する。
2	帳票取出し（即時型）	即時型の帳票電文をセンターから取り出す。
3	帳票取出し（蓄積型）	蓄積型電文キュー内の帳票電文を取り出す。
4	受信確認	帳票の受信が完了したことをセンター側に通知し、通知後、次の帳票がセンター内にあれば配信される。
5	管理資料取出し	管理資料情報を取り出す。

【留意点】

- ①処理要求電文の送信は、ebMS処理方式とは異なり、1件ごとの送信となります。
- ②自社システム側から「帳票取り出し」機能を利用して、取り出しを行うこととなります。
- ③「帳票取出し」機能と「受信確認」機能は、併せて自社システム側で開発が必要となります。
- ④XML電文及びNACCS EDI電文に対応します。
 - ※XML対象の業務機能（SIR/EIR、IVA）は、次期システムにおいても引き続き提供する予定です。
 - ※SIR/EIRについては統合予定となっております。

- 接続仕様等の公開について

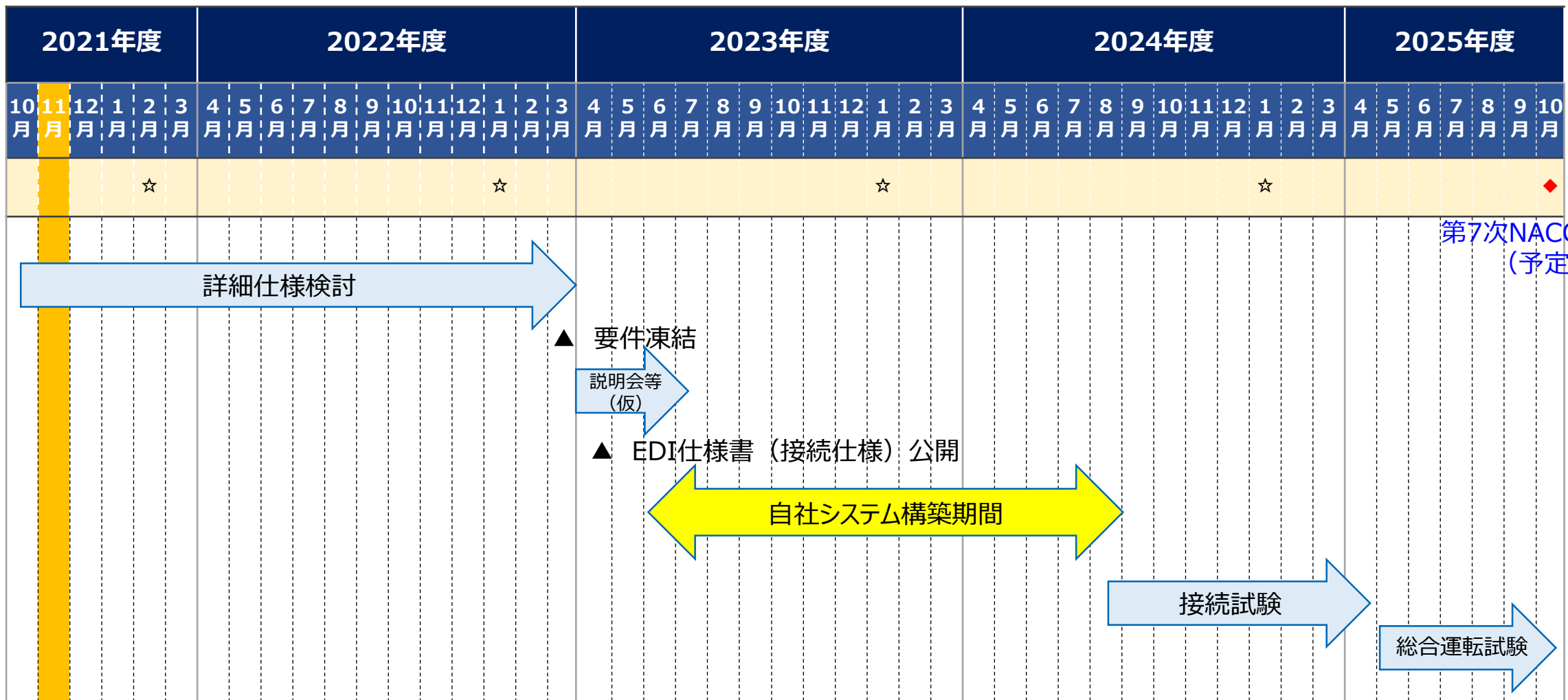
- EDI仕様書の公開は2023年4月を予定しておりますが、自社システム開発において必要とされる情報については、検討が終了したものから順次情報を公開していく予定です。

- クライアント証明書の配布方法

- 詳細はネットワークベンダー決定後の検討となります。

- クライアント証明書の更新

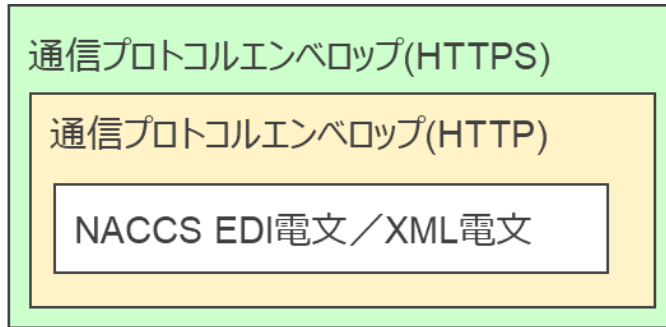
- クライアント証明書の有効期限、更新時の運用についても、利用者様の負担軽減も考慮し、今後検討いたします。



第7次NACCS更改
(予定)

☆…専門部会

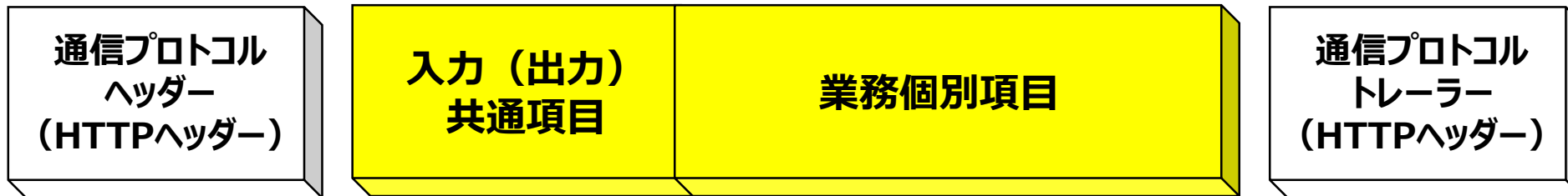
■ netNACCS処理方式 (NACCS EDI / XML) のメッセージフォーマット



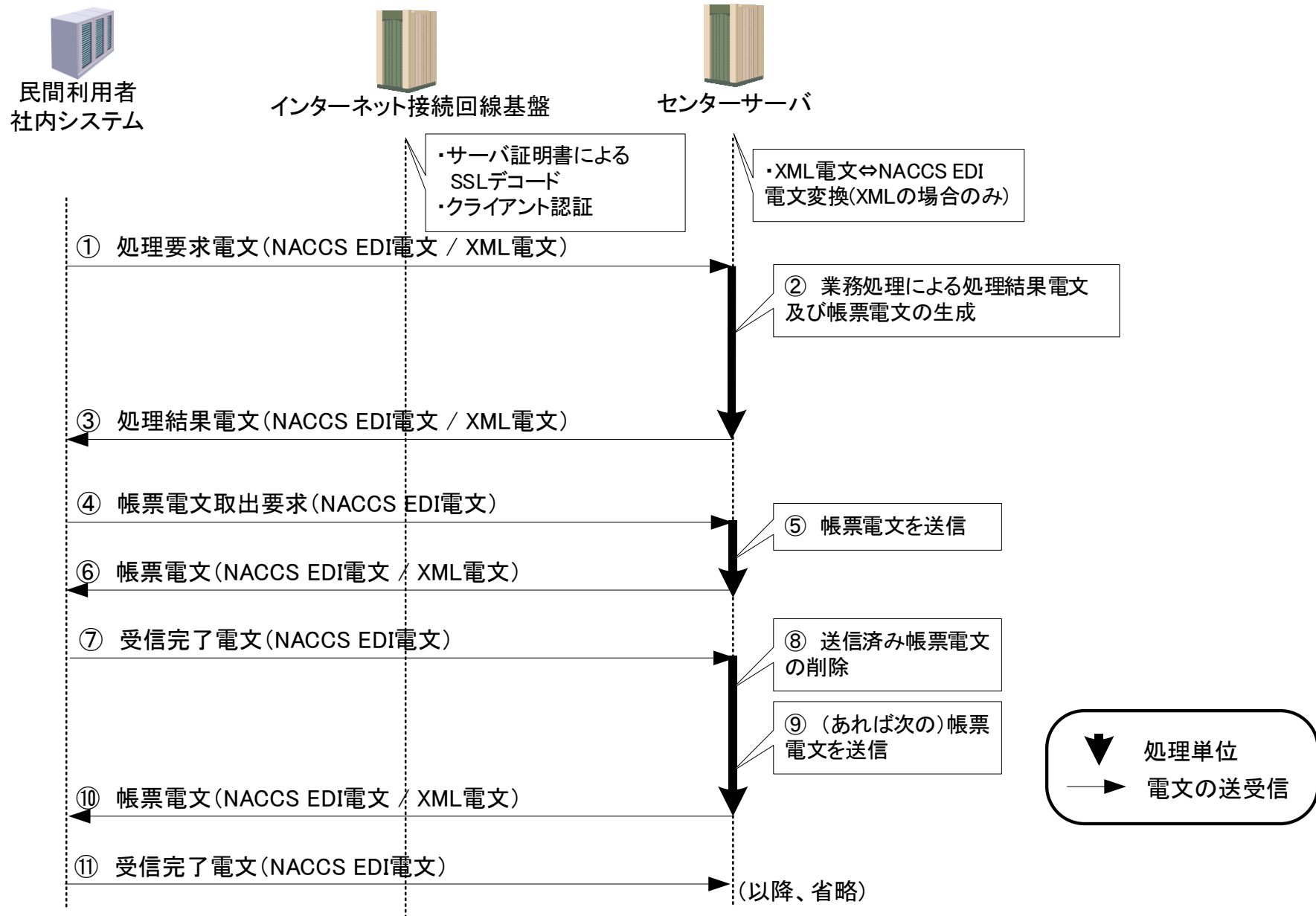
■ netNACCS処理方式の電文フォーマット (XML)



■ netNACCS処理方式の電文フォーマット (NACCS EDI)



※入力 (出力) 共通項目については、ebMS→netNACCSへの変更に伴い、一部の設定内容が変更になります。
詳細な設定内容については、EDI仕様書にて提示いたします。

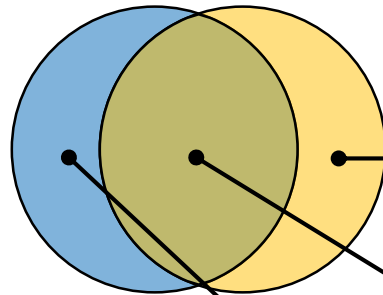


② SIR業務とEIR業務の統合

区 分	概 要	備 考
1. 個別検討事項	<ul style="list-style-type: none"> SIR業務とEIR業務の統合（オンライン業務の統廃合） 	
2. 現行仕様	<ul style="list-style-type: none"> 海上 → 「船積指図書(S/I)情報登録（SIR）」業務 航空 → 「S/I情報登録（EIR）」業務 	
3. 見直しの経緯 (利用者の要望等)	<ul style="list-style-type: none"> 海上・航空でそれぞれ個別に業務を提供しているが、同様の入力内容であり、トラフィック数が偏っている。 業務数を削減し、更改時の開発コスト削減、維持フェーズにおけるメンテナンスコスト削減を図る。 	
4. 次期仕様	<ul style="list-style-type: none"> EIR業務（航空）をSIR業務（海上）へ統合し、海上・航空共通で利用可能な新SIR業務とする。 	
5. その他	<ul style="list-style-type: none"> 第1回合同WGにて提示 基本仕様書Ⅳ-3「オンライン業務の統廃合」 	

SIR業務

EIR業務



① EIR業務のみに含まれる項目

- SIR業務へ統合いたします。

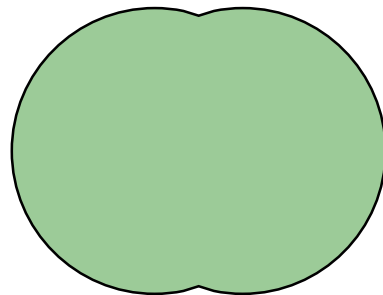
② EIR業務とSIR業務で重複する項目

- 項目を統合し、一部項目名を変更いたします。
- 入力の桁数、繰り返し数が異なる項目について、多い方に合わせて拡張いたします。

③ SIR業務のみに含まれる項目

- SIR業務から変更はございません。

新SIR業務



※詳細については、「別紙_新SIR業務入力項目表（案）」をご確認ください。